

**泉区地域子育て支援拠点事業
平成30年度重点目標評価結果・次年度重点目標**

事業実施期間	平成30年4月1日～31年3月31日(1年度目/5か年度)
事業の実施者	特定非営利活動法人ちよこっといずみ 泉区こども家庭支援課
事業目的	市民が安心して子どもを生み育て、子育てに喜びを感じることができる社会環境を形成し、子育てを地域全体で支援する地域力の創出に寄与することを目的とします。 【事業・施設運営の基本理念】 1 泉区における、地域による子育て支援の拠点施設としての運営 2 子どもの視点に立ち、すべての就学前児童及びその養育者、並びに子育てに関する支援活動を行う者に開かれた運営 3 子どもと家庭を支援する各種の行政等機関・地域等との連携を図る運営 4 利用者の意見、子育てをめぐる社会情勢、市民ニーズの変化に柔軟に対応できる運営 5 子ども及びその養育者の育ちを支援するとともに、養育者自身が事業の担い手として関わることができる視点に立った運営 6 地域の人と人とのつながりを広げ、地域ぐるみの子育て支援を目指す運営
事業の内容	1 乳幼児の遊びと育ちの場及びその養育者の交流の場の提供(親子の居場所事業) 2 子育てに関する相談及び関係機関との連携に関すること(子育て相談事業) 3 子育てに関する情報の収集及び提供に関すること(情報収集・提供事業) 4 子育てに関する支援活動を行う者同士の連携に関すること(支援者ネットワーク事業) 5 子育てに関する支援活動を行う者の育成、支援に関すること(人材育成、活動支援事業) 6 地域の住民同士で子どもを預け、預かる支え合いの促進に関すること(横浜子育てサポートシステム区支部事務局運営事業) 7 子育て家庭のニーズに応じた施設・事業等の利用の支援に関すること(利用者支援事業)
事業の評価実施方法及び評価結果の公表方法	1 今年度の取組状況や利用者アンケート結果等をもとに、協働契約書中の役割分担表の項目に沿って設定した、今年度の達成目標のうち、当該年度に特に重点的に取り組む達成目標である「重点目標」について、以下の通り、相互振り返りを踏まえた取組成果と課題を公表します。 2 今年度の取組状況や成果、課題を踏まえ、次年度の重点目標を公表します。

1 平成30年度重点目標の評価

平成30年度重点目標	・妊娠中の方とその家族の拠点利用機会を増やし、産後の支援に繋がります。 ・子育て世代包括支援センターモデル実施区として、区と拠点が連携し、それぞれの強みと特徴を活かして、妊娠期から子育て期の支援をさらに充実させます。
取組内容	・妊娠中の方とその家族が参加しやすいプログラムを継続、充実させ、また広く周知します。 ・地域の子育て支援ネットワークに関わる人や機関に向けて、妊娠中の方を支援していけるような取り組みの働きかけを行います。
取組の成果	・母子手帳面接の際に手渡す「マイカレンダー」の裏面に拠点のマタニティ向け事業の紹介を掲載し、利用につながるよう働きかけたことにより、妊娠初期にも拠点を訪れる妊婦が少しずつ増えてきました。 ・妊婦とその家族を対象に事業を行い、毎月両親教室に出向いて周知したり、事業のチラシを区内の産婦人科・相鉄線の各駅・大型スーパーなどに配架することで参加者の増加につながりました。 ・支援の必要な妊婦の姿を地域に伝えることにより、見守りや支援体制の強化につながりました。
取組の課題	・多様な妊婦のが増えてきた状況で、同じ課題を抱えた人同士をつなぐ工夫(事業等)が必要です。 ・地域で、より具体的に支援を広げていくための工夫が必要です。

2 次年度重点目標

平成31年度重点目標	・地域や関係機関に向けて子育て家庭と妊婦の多様な姿やニーズを伝え、妊娠期からの継続した支援の必要性を共有し、支援の輪を広げていきます。 ・子育て世代包括支援センターモデル実施区としての今までの取り組みを振り返りながら、把握してきた妊娠期の方のニーズをふまえ、福祉保健センターとさらに連携を充実させながら、事業を実施していきます。
取組内容	・ケアプラザエリア別子育て支援ネットワークや、子育てサロンとの連絡会など、関係機関や地域の支援者との繋がりの中で妊娠期からの支援の必要性を伝え、産前からの支援が子育て期まで切れ目なく、地域でも広がるよう働きかけます。 ・同じ課題を抱えた妊婦や養育者が繋がるきっかけとなる機会を設けていきます。 ・仕事を続けている妊婦が増えている状況を踏まえ、土曜日に拠点で妊婦やその家族向けの事業を行い、沐浴体験や赤ちゃんとのふれあい・養育者との交流を通して、産後の暮らしのイメージを持ってよう支援します。